

医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）中間評価結果

1. 中間評価を実施した課題

課題名	制御性 T 細胞の減弱作用と分子標的阻害による新規固形がん治療法の開発
代表機関	レグセル株式会社
公募型	スタートアップ型
公募タイプ	研究開発タイプ

2. 本課題の概要

我が国では悪性腫瘍による死亡が多く、新規治療法の開発が国民的ニーズである。がん治療薬として、低分子標的薬は腫瘍細胞と正常細胞の弁別に優れるが、著効するのは慢性骨髄性白血病 (CML) など一部のがん種に限られる。一方、効果的な低分子製剤は、投与の簡便化及び将来的な医療コストの軽減等の利点をもたらす可能性があり開発が期待されている。

本課題の目的は、がんドライバー変異を標的薬とした抗がん作用だけでなく、制御性 T 細胞 (Treg) の抑制作用を併せ持つ新規がん治療薬を開発することである。具体的には、固形がんのドライバー変異に対する分子標的薬ライブラリーから LCK 阻害活性を持つ化合物を探索し、腫瘍細胞に対する直接的な抑制効果、および Treg 減弱による間接的な抑制効果を評価することで、二重 (デュアル) 効能を発揮する新規がん治療薬の開発を目指す。

3. 評価結果

研究開発等の進捗状況及び今後の見込みについて評価した結果の概要を以下に示す。

「がんドライバー分子阻害剤をリード化合物として、LCK に親和性の高い阻害剤の開発に成功した。がん移植モデルでは期待する結果を得ており、今後も計画通りに進捗することが期待される。」

以上、研究開発実施計画書にもとづき進捗を確認した結果、本課題の継続を可と評価した。

以上